

第10回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、多職種による事例検討を行います。

抗がん剤治療に関してご本人とご家族の意向が違う事例を経験します。ご家族が治療継続を強く希望された舌がん事例を振り返り、どのように働きかければ患者家族が納得でき、緩和ケアへの移行が円滑に行われるか検討していきたいと思えます。

日時：平成29年4月27日(木) 17:15~18:45 (17:00受付開始)

場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

(別紙会場案内図をご参照ください)

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。

駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

司会 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 末重千里看護師長

17:15~17:45

ミニレクチャー「がん治療期からの在宅支援について」

山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

宮内貴子副看護師長

17:45~18:45 (各演者10分、全体討議40分)

外来化学療法継続について本人と家族の意向が異なった舌がん事例

山口大学医学部附属病院 歯科口腔外科

加藤芳明先生

山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター看護師

野村さやか看護師

お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院
緩和ケアセンター事務局 (担当 三上)
Tel: 0836-85-3070 FAX: 0836-85-3071
E-mail: y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター 山口大学医学部附属病院腫瘍センター
中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム